

乞揭示

Department of Mathematics, Kobe University, Colloquium Lecture

神戸大学大学院理学研究科
数学教室談話会

日時： 2008年7月9日(水) 17:00~18:00

於： 神戸大学理学部B棟428-30号室 (B棟の4階奥です)。

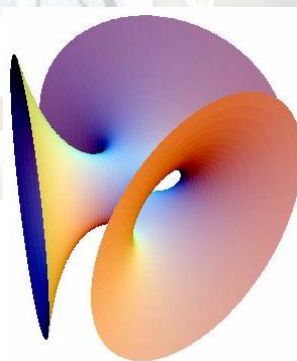
講演者： 齋藤 恭司 氏

(東京大学 数物連携宇宙研究機構 (IPMU))

講演題目： 非可換格子上の Ising 模型について

Gibbs による (熱) 統計力学は二次元の (可換) 格子模型のとき Ising, Onsager, Baxter, 三輪-神保等により大きく成功し、かなりいろいろな事が計算できるようになっているように見えます。わたくし自身は部外者なのですが、幾何学的動機からその出発点を非可換な格子に置き換えたらどの様になるのか興味を抱いてきました。その方面では意外と知られていることはあまりないようです。この講演では、適当な境界条件の下で分配関数の高温展開の理論を作ってみようと思います。組紐群等のよい場合には、それら分配関数はある種の剰余理論により記述できることを示したいと思います。

同日16:30より 数学教室 談話室(B棟4F)において講演者を囲んでお茶会を開きます。皆さま、お気軽にご参加下さい。



問合わせ先： 神戸大学大学院理学研究科数学教室

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1

電話： 078-803-5625(小池 達也)

EMAIL： koike@math.kobe-u.ac.jp

